

平成27年度復興支援の担い手の運営力強化実践事業

いわて文化支援ネットワーク通信

アシスト・なう

14号

発行日

平成27年12月10日

発行:特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター / 印刷:杜陵高速印刷株式会社

『ウイーン・フィルメンバーによる宮古コンサート2015』



10月5日、ウイーン・フィルハーモニー管弦楽団メンバーによるこどもたちのためのコンサートが行われました。

東日本大震災の後、音楽を通じて被災地はもとより日本全体に活力を与える支援活動を継続的に実施する目的で、2012年公益財団法人サントリー芸術財団に「ウイーン・フィル&サントリー音楽復興基金」が設立されました。次世代の音楽愛

好者と演奏者の育成のための音楽指導に取り組むコンサートを行っており、岩手県では2013年に山田町で行われ、宮古市は2回目のコンサートになります。今回宮古市にはウイーン・フィルのメンバー11人に来ていただき、音楽を通じた交流活動が行われました。

メンバー11人は宮古市に到着後、浄土ヶ浜で献奏を行いました。浄土ヶ浜は雨が降りそうな天候でしたが、鎌ヶ崎地区復興会議会長 古館昌三様の「東日本大震災の被災にあつた方々に最もおさわわしいこの浄土ヶ浜で鎮魂の演奏をしていただきありがとうございます」というお礼の挨拶があり、震災で亡くなった方々に黙祷をし、観光客含め100人くらいの方々が聴き入る中、シューベルトの『白鳥の歌から第4曲セルナーデ』が献奏されました。

献奏後は宮古高校に移動して、体育館で全校生徒690人を前に「ハイドンのトランペット協奏曲変ホ長調」など5曲が披露された後、佐藤尚校長先生の指揮で吹奏楽部の皆さんによる返礼曲が演奏されました。最後にウイーン・フィルのメンバーと一緒に『ラテッキエー行進曲』が生徒の皆さんの手拍子と共に演奏され、盛大な拍手が送られました。メンバーの皆さんに感謝とお礼の気持ちの花束を贈呈した吹奏楽部部长2年生 柳瀬夏羽(やなせなつは)さんは「私たちは普段プロの演奏を聞く機会がなかったのですが、ウイーン・フィルの方々に来ていただけて光栄です。そして生で演奏を聴くことが出来て勉強になりました。」と話し笑顔を見せました。



宮古市民文化会館では、コンサート前に「ジュニアアンサンブル宮古」の子どもたち小学2年生から6年生8人が演奏を行いました。ジュニアアンサンブル宮古の子どもたちは練習を始めてまだ4ヶ月。演奏を披露した後、ウイーン・フィルのヴァイオリン奏者ダニエル・フロシャウアーさんからアドバイスを頂き、一緒にバッハの「カノン」を演奏しました。ジュニアアンサンブル宮古の磯鷗小学校4年生 藤原瑚乃香(ふじわらこのか)さんは「ヴァイオリンを弾くポイントも教えてもらいすごく楽しかった。これからはがんばって練習します。」と目を輝かせていました。



本番前にプレコンサートとしてジュニアアンサンブル宮古の子どもたちと一緒に演奏をし、観客の皆様にご披露しました。コンサート本番は、「シャルパンティエ・テ・デウム」(凱旋行進曲と前奏曲)ははじめ6曲演奏しました。演奏が終わると鳴り止まないアンコールの拍手があり、浄土ヶ浜でも演奏した「白鳥の歌から第4曲セラナーズ」を演奏しました。たくさんの宮古市民の方々に演奏を聴きにきていただき、盛会裏に終了いたしました。



翌6日もサントリーホールでのコンサートがある中、お忙しい合間をぬって宮古市に来ていただき感謝の気持ちで一杯です。(報告 多田研二)

音楽団員のヴァイオリン奏者ダニエル・フロシャウアーさんは「今回宮古市でコンサートを出来たことは非常にうれしく思っております。津波に遭った方々の前で演奏できることを通して皆様の心・気持ちに少しでも楽になり元気になれるお手伝いになれば良いと思っております。」と語ってくださいました。

行いました。終了後は、参加者の子ども達や保護者の方々より活動の継続を望む声が多く聞かれました。

「子ども音楽劇」ゆきわたり」開講式

本年度も引き続き「トヨタ・子どもとアーティストの出会い」事業にて子ども音楽劇作りを実施することになりました。作品は「ゆきわたり」(作・宮沢賢治)。宮古市近郊の小学校3年生・6年生までの子ども達が10月から3月までの半年間、演技指導の島山泉さんをはじめとする、作家・歌唱指導者・美術家など様々なジャンルのアーティストによる指導やワークショップを通して、音楽劇作りを体験し最後に発表会を行います。



以降、浄土ヶ浜遊覧船やマリノアコープDORAでの関連イベントなどが継続して行われています。

10月10日、子ども音楽劇「ゆきわたり」開講式が宮古市民文化会館中ホールにて行

引き続き参加者を募集しています。宮古では演劇活動の場が少なく、本事業は宮古の子ども達にとって貴重な芸術体験の場となることと思います。沿岸被災地の子ども達への「心の復興」事業として始まったこの音楽劇づくりの活動を通して、学校の枠を超えた仲間と出会い、子ども達に共同創作の楽しさを感じてもらいたいと願っています。

子ども音楽劇「ゆきわたり」
問合せ↓0193-631-2511
(宮古市民文化会館)

昨年度、震災から復旧再開したばかりの宮古市民文化会館にて「トヨタ・子どもとアーティストの出会い」事業として、子ども音楽劇作り「どんぐりと山猫」が行われました。9ヶ所の小学校より13名の子ども達に参加し、約2ヶ月の稽古を経て30分程度の音楽劇を創り上げ中ホールにて発表会を行いました。

今回はシンガーソングライター・山崎真知子さんや、ジャズピアニスト・指揮者として知られる音楽家の前田憲男さんをはじめ、県外から招聘したミュージシャンによるステージと、市内小・中学生、高校生による歌や合奏のステージとが融合したスタイルで行われました。

合唱団・磯鷗小学校合唱部・千徳小学校合唱委員会が登場。前田さんのピアノ伴奏で合同合唱「花は咲く」を披露しました。

文化支援指導者の派遣事業「劇研麦の会」朗読劇指導

10月18日「第63回みやこ市民文化祭開幕式」にて宮古市の劇研麦の会による朗読劇「度十公園林」(作・宮沢賢治)の発表が行われました。

「わがで奏でる 東日本応援コンサート 2015 in 宮古」

10月12日(月・祝)、「わがで奏でる東日本応援コンサート2015 in 宮古」が宮古市民文化会館大ホールで開催されました。

このコンサートは2011年に起こった東日本大震災以来、被災地を応援しようとして、セイコーホールディングス株式会社の企画・協賛で2013年より取り組まれているものです。イベントタイトルの「わが」には支援活動の「輪」や、「一丸」となると復興に取り組み調和の「和」などの思いが込められており、宮古市では2013年に「グリーンピア三陸みやこ」会場で開催されて



イベントを終えて、何よりもまず小・中学生、高校生の参加団体数とその人数の多さに驚かされました。また彼らに向けられる客席のあたたかいまささしからも、宮古市民の皆さんの音楽教育、そして音楽という分野そのものへの関心の高さが窺えま

それ为先立ち10月10日・11日の2日間に渡り、いわて文化支援ネットワークによる朗読劇の演技指導及び音楽演奏指導の為に指導者派遣をいたしました。演技指導は当法人の理事長 坂田裕一、演奏指導は佐藤桐華さんです。



を受けた出演者の皆さんが真摯に取り組み、ほんの数時間の稽古で豊かな表現力が引き出されたように見えました。

劇研麦の会は、宮古市で現在活動している唯一の劇団で、昭和23年に設立された老舗劇団です。震災により大きな被害を受けたにもかかわらず、宮古の演劇の火を絶やさぬよう活動を続ける劇研麦の会。みやこ市民文化祭では宮古市民文化会館大ホールにて次の通り上演されました。11月15日(日) 劇研麦の会公演 朗読劇「虔十公園林」(作・宮沢賢治) / 「出稼ぎの季節」(作・田中茂)

(報告 菊池摩美)

主催事業イベント情報

「あの日から」出版記念朗読劇公演

岩手県出身の作家12人による、東日本大震災をテーマとした短編小説のアンソロジー「あの日から」が、平成27年10月11日に発刊されました。

いわてアートサポートセンターでは、それらの作品を朗読劇として県内各地で上演し、震災の記憶を語り継いでいきます。

朗読劇『風待ち岬』『海から来た子』『お地蔵様 海へ行く』【入場無料】

《作》柏葉幸子 《演出》坂田裕一 《出演》中山恭誉・東海林千秋・星佳奈・伊勢二郎 《ピアノ》菊池大成

◆12月12日(土) 14時 会場：陸前高田市 竹駒地区公民館・集会室 (陸前高田市竹駒町字館44)

◆12月13日(日) 14時 会場：大船渡市 福祉の里センター・視聴覚室 (大船渡市立根町田ノ上30-20)

★終演後、原作者の柏葉幸子さんをお交えてアフタートークを行います。

朗読劇『長靴をはいた犬』【料金：前売 一般…1000円 学生・シニア…800円】

《作》久美沙織 《演出》佐藤桐華 《出演》佐々悠

◆1月23日(土)・1月24日(日) 会場：いわてアートサポートセンター風のスタジオ

朗読劇『水仙月の三日』【料金：前売 一般…1000円 学生・シニア…800円】

《作》澤口たまみ 《演出》藤原正教 《出演》小野寺斉子・永井志穂・橋本佳織

◆1月31日(日) 14時 会場：もりおか町家物語館 浜藤ホール

いわて文化支援ネットワーク

〒020-0878 岩手県盛岡市肴町4-20永卯ビル3F
NPO法人いわてアートサポートセンター内
☎019-604-9020 FAX:019-604-9021
E-mail:kaze@iwate-arts.jp
http://ibsn.web.fc2.com/

●支援金振込先(振り込み手数料は負担願います)

■みずほ銀行 盛岡支店(普) 1190698*

■ゆうちょ銀行 店名【八三八】(普) 0808732*

※いずれも口座名：いわて文化支援ネットワーク

■岩手銀行 中ノ橋支店(普) 2044173

口座名：いわてアートサポートセンター文化支援 代表 坂田裕一

現在の支援金総額 **10,134,422円** (平成27年11月30日現在)

ご支援、ご協力
ありがとうございます。